

TEKNA 2024年 イースター号

イースター 神秘—神の秘儀

景山恭子

新約聖書—新しい契約の書—の中の四福音書にはすべてイエスの復活の神秘について多くの章が捧げられています。神秘の中核は、「空っぽの墓」と「使徒たちによる言い伝え」です。

女たちは「朝早く日の出と共に」墓へ急ぐと白い衣を着た若者が言います。「あの方はあなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われた通りそこでお目にかかれる。」、「女たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり正気を失っていた。そして誰にも何も言わなかった。恐ろしかったからである。」(マルコ)

大きな地震が起こった。、、天使は女たちに言った。「恐れることはない。」、女たちが空っぽの墓を立ち去るとイエスはその行く手に立っていて「おはよう」と言われます。(マタイ)

2 人の弟子は意気消沈してうなだれてエマオへと向かいます。そこで出会う見知らぬ旅人に「一緒にお泊りください。と誘います。その見知らぬ旅人は「夕食の席でばんを取り祝福して裂き二人にお渡しになった。すると二人の目が開け、イエスだと分かった、、」(ルカ)



「なぜ取り乱しているのか、どうして心に疑いを抱くのか？そこで焼いた魚を一切れ差し出すとイエスはそれを取って彼らの前で食べられた。」(ルカ)

ヨハネ福音書 20 章では空っぽの墓の前に号泣するマグダラのマリアの前にイエスが立たれて訊かれます、「なぜ泣いているのか？」と。

そして21章でヨハネは続けます。弟子たちが、「、恐れて自分たちのいる戸にはみな鍵をかけていた。そこへイエスが来てまん中に立ち「あなたがたに平和があるように」と言われます。

そこにいなかったトマスは言います。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘あとに入れなければ私は決して信じない」するとイエスは言われます。「あなたの手を伸ばして私の脇腹に入れなさい。」「私を見たから信じたのか、、信じるものになりなさい。」

ある朝、弟子たち漁から戻ると、そこに魚を焼いている匂いが漂ってきます。イエスが言われます。「さあ、来て朝の食事をしなさい。」(ヨハネ)



ご復活されたイエスは私たちの日常のできごとの中にひっそりと立たれます。

礼拝の中で、「主の平和」と挨拶するのは復活のイエスが弟子たちに言われた「あなた方に平和があるように」の呼応です。

聖餐式の中で、パンが裂かれ私たちに渡されるとき、私たちは「あなたに会いたい、あなたの中で憩いたい、」(ヘンリナウエン)というイエスに出会い、イエスの現存を体験します。エマオでの出来ごとのように。



イエスは、空っぽの墓を前にした女たちのように、私たちがとてつもない恐れと悲しみの中で、うちひしがれている時に、私たちの名前を呼ばれます。号泣する私たちに尋ねられます。「なぜ泣いているのか？」



なぜ取り乱しているのか？恐れることはない。と言われるイエス。

正気を失い誰にも何も言えない私たちに耳を傾けてくださるイエス。

「ここには入らないで！」と心の扉を頑なに閉め続ける私たちが、扉を開けるのを辛抱強く待っておられるイエス。

「そんなことは信じない」と言い張る私たちの疑いのただ中で「恐れることはない」と言われるイエス。

行くてに立ち、「おはよう」と呼びかけられるイエス

脇腹の生々しい傷あとを見せながら、逃げるな！「そこに手を入れよ」と十字架の傷跡を見せられるイエス。

朝ごはんを用意してくださるイエス。「ご飯ですよ～」と。(イエスさまは焼き魚が好き？)

私たちの旅の途中で出会う見知らぬ人は誰？私たちは食卓に誰を招いているのか？

そしてペテロのようにたび重ねて、「その人は知らない」と否定する私たちにイエスは言われます。「年を取ると両手を広げ、他の人に帯をしめられ、行きたくない所に連れて行かれる。、、、私に従いなさい。」(ヨハネ)と。

さて日本語でイエスは甦った！イエスは復活した！と書かれますが、英語では He is risen!と受動態で述べられています。イエスは甦らせられた、と訳されることになるのでしょうか？イエスを起こされるのは父なる神。起こされたのは子なるイエス。そのことを伝え続けてきたのは不思議な力、聖霊。「父と子と聖霊によってアーメン」

イースターの語源はギリシャ神話の中に登場する春の女神、エステルと言われています。今年も桜が咲き、春が来ました。春の女神は微笑んで、神秘、神の秘儀を私たちに運んできます。

He is risen

He is risen

He is risen, indeed

アレルヤ!!

イースターは景山恭子さんからメッセージを頂きました。

MJM 東京主催の例会は少なくなりましたが、4月は植松功さんによるテゼの祈りを予定しております。
是非皆様ご都合をつけてオルバン教会にお越しください。

<MJMTokyo 4月例会のご案内>

4月の例会は植松功さんをお迎えして、テゼの祈りの会を下記の日程でいたします。

Zoom と併用ですので、皆様ご参加ください。

植松功さんとテゼの祈り

日時: 4月10日水曜日 10時30分

場所: 聖オルバン教会



参加ご希望の方はご連絡下さい。

Zoom でのご参加は Zoom 参加とお書きください。植松さんのアカウントを使用させていただきます。参加ご希望の方に例会日近くになりましたら、Zoom 情報をお知らせいたします。

mjmtokyo.tekna@gmail.com まで出席メールを送ってください。皆さまのご参加をお待ちしています。

み恵に満ちたイースターをお迎えください。

<その他の集会>

下町グループの聖書会

毎月第3金曜日19時より zoom にて上田亜樹子司祭のもとで行われます。

上田司祭は NY MJM のこともご存じです。聖書箇所は次の主日の福音書です。ご参加ください。

この会にはいつも MJM 東京の ZOOM で参加して下さる高津さんが参加されています。いつも資料など送って下さっております。

MJM 東京の例会でもなじみのある、キャンドル会の形式で行われます。是非皆様ご参加下さい。

「聖書と聖歌の会」

2024年度の予定

4月26日、6月28日、8月23日、10月25日、12月13日 いずれも金曜日

10時～12時、月島聖公会にて

世話人: 上田 亜樹子 司祭

* 聖書のメッセージと歌詞を視野に入れつつ、聖歌を味わう会です。最後にティータイムもあります。

参加なさりたい方は、どなたでも歓迎です。会場の都合により、前もって MJM 東京にご連絡下さい。月島聖公会の係の方にご連絡いたします。

<お知らせ>

TEKNA はメールでのお届けになります。郵送お望みの方はお知らせください。

また、ご支援くださる方は以下の銀行に献金をお願い致します。

ゆうちょ銀行019支店当座0770266

三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺支店(店番:220)普通 口座番号 1793933